



相模鉄道本線・星川駅の高架下空間における 公共スペースの活用に向けた 事前説明会・現場見学会

令和5年10月4日

横浜市こども青少年局企画調整課

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

市場調査手法のうちの一つで、公募要項を作成するにあたり、民間事業者の皆様と直接対話する場を設け、課題解決に向けた具体的なアイデアを把握することや、参入の意向、どのような部分に障壁が存在するかを確認するために実施するものです。

対話の結果はHPに公表するとともに、対話をもとに実現可能な事業スキームを市で検討し、公募要項を作成・公表します。

事業者様のメリット

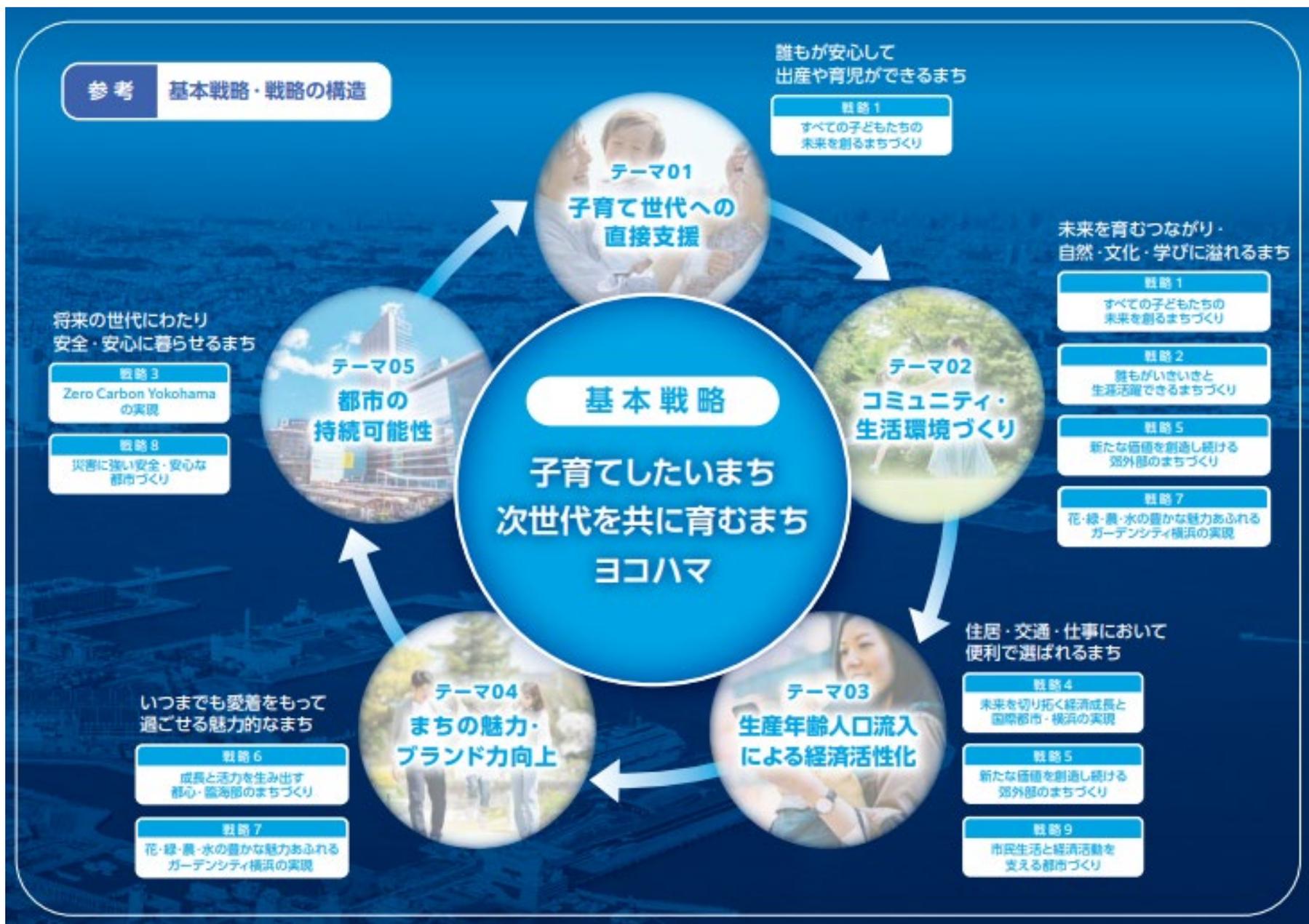
- 事前に行政の事業方針を直接確認できる
- 本公募の前段階で自らの意向を行政に伝えることができる
- 本公募に向けて検討期間を長くとることができる

高架下スペースの活用

相模鉄道本線(星川駅~天王町駅)(約1.9km)の連続立体交差事業によって高架化された鉄道の下に設けられた施設



横浜市中期計画2022-2025における、基本戦略



横浜市及び保土ヶ谷区の人口

(令和5年9月1日現在)

	人口(人)	世帯数(世帯)
横浜市	3,772,440	1,798,741
保土ヶ谷区	205,878	100,928

出典:保土ヶ谷区統計便覧～統計で知るほどがや へそ～

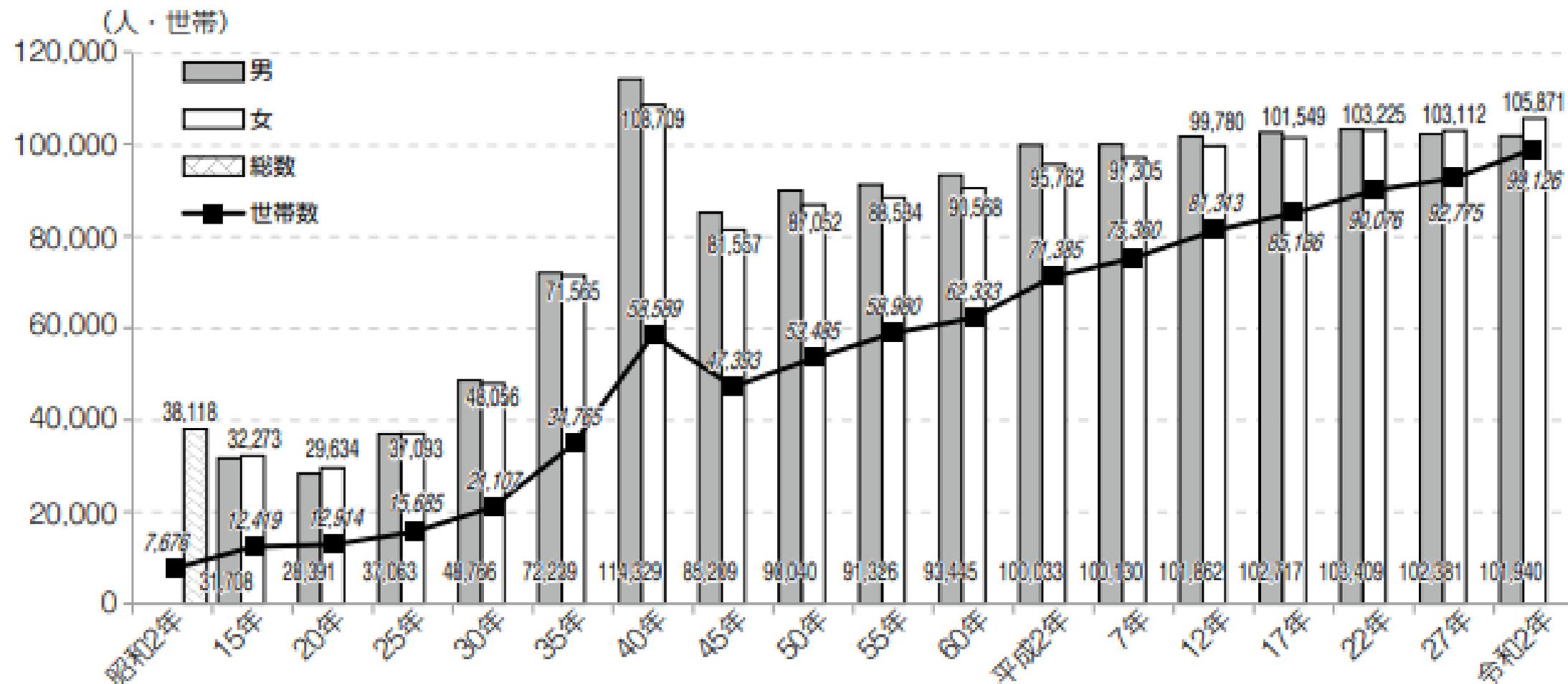
(令和2年10月1日現在)

	人口(人)	世帯数(世帯)
東京都 荒川区	217,475	112,009
広島県 呉市	214,592	94,483
群馬県 伊勢崎市	211,850	86,200
東京都 台東区	211,444	124,345
横浜市 保土ヶ谷区	207,811	99,126
東京都 西東京市	207,388	97,018
島根県 松江市	203,616	85,593
千葉県 流山市	199,849	83,115

出典:国勢調査

横浜市及び保土ヶ谷区の人口推移

○人口の歩み

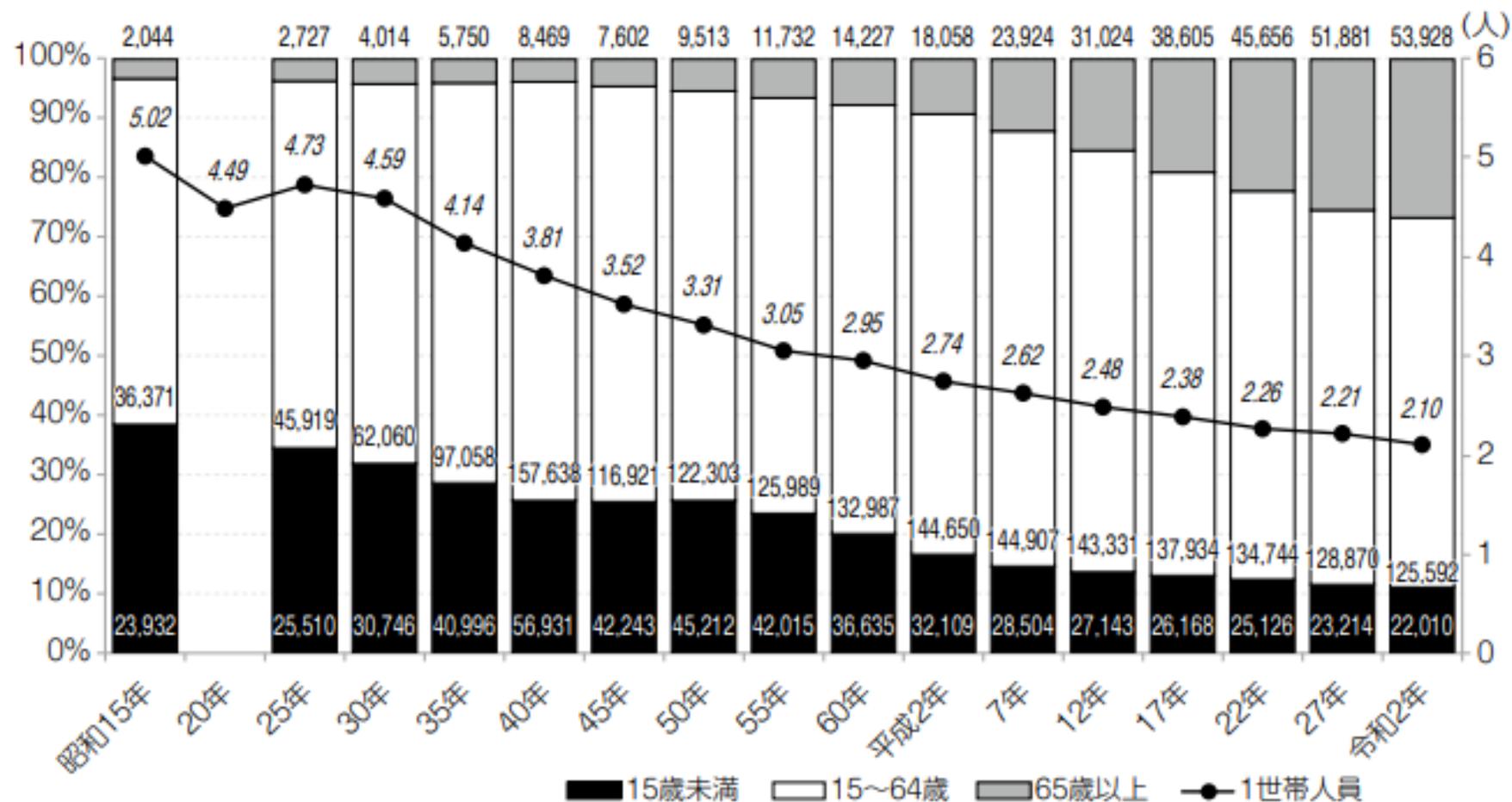


※昭和2年の男女別集計はありません。
 ※昭和44年に保土ヶ谷区から旭区が分区しています。

資料：国勢調査、横浜市統計情報ポータル

保土ヶ谷区 人口構成（3区分）の推移

○人口構成(三区分)の推移



※各データ年月日：各年10月1日現在。ただし昭和20年は11月1日現在。

資料：国勢調査

※昭和15年の年齢別集計は内地人のみの人口です。

※昭和20年の人口は11月1日現在人口調査によるもので、年齢別集計はありません。

※年齢不詳者は数値に含んでいません。

相鉄線の1日平均乗降客数（2021年）

駅	1日平均乗降客数
横浜駅	296,147人
平沼橋駅	7,244人
西横浜駅	12,407人
天王町駅	19,641人
星川駅	22,611人
和田町駅	12,907人
上星川駅	19,644人
西谷駅	20,664人
鶴ヶ峰駅	45,320人
二俣川駅	64,325人

出典：国土数値情報（駅別乗降客数）（2021年 令和3年度）